

RaySafe X2 Solo

特定ニーズ向けX線測定器





モダリティに必要なすべてが、ここに

RaySafe製品ラインの新製品、RaySafe X2 Soloは、ご使用になっているモダリティに適した測定ニーズをカバーします。RaySafe X2 Soloはユーザーに優しい使い勝手とその性能が高く評価されているRaySafe X2と同じ技術に基づいていますが、複数モダリティ対応機能を持たせる代わりに、機種別に特定のニーズに対応しています。X2 Soloは、ご使用になっているモダリティの多様なQA測定やサービス測定のニーズに応えます。

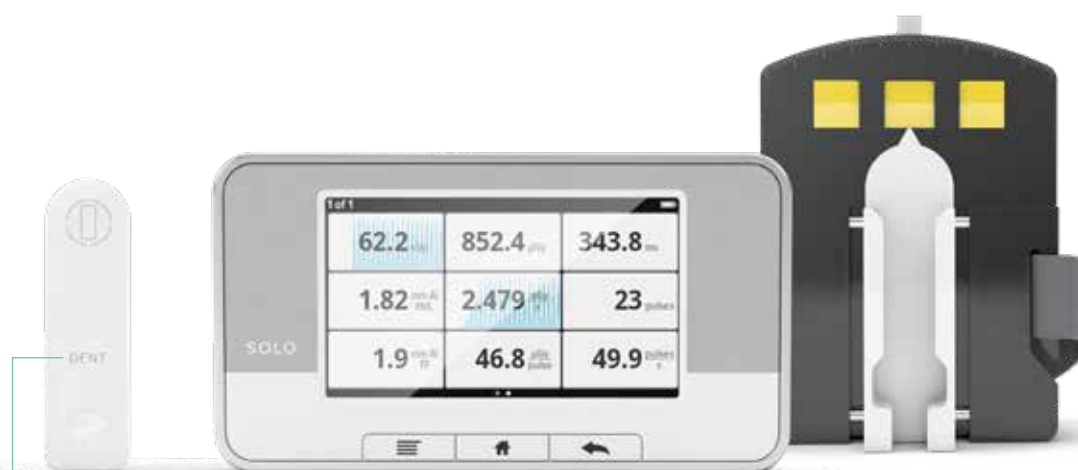
RaySafe X2 Soloは大きなタッチスクリーンにすべてのパラメータを同時に表示、センサーは特別な設定やモードを選ばなくてもそのまますぐに測定が開始でき、ベースユニットはすべての測定結果を保存して、全波形を表示します。それだけではありません。その抜群の使い勝手によって、貴重な時間を節約するうえに、測定ミスリスクも最小限に抑えます。RaySafe X2をお使いのお客様のコメントです。「何もしなくても、ちゃんと仕事をしてくれます。」

RaySafe X2 Solo



RAYSAFE X2 SOLO R/F

– 一般撮影装置および
透視装置用



RAYSAFE X2 SOLO DENT

– 歯科用X線装置専用

より手軽に。よりの確に。

RaySafe X2 Soloには、センサーを配置したり、設定を選択したり、結果を解釈したり、といった測定につきものの余分な手順がありません。R/FセンサーもDENTセンサーも、センサーが置かれた面に平行な回転による角度の違いには依存性がないため、必要な手順はX線が当たるようにセンサーを置いて、測定器のスイッチを入れるだけです。後はそのまま自動測定。メニューも特別な設定も必要ありません。

RaySafe X2の技術

RaySafe X2 Soloは、最先端のセンサー技術と直感的で実績のあるユーザーインターフェイスとを融合させることで、ユーザーフレンドリーな使い勝手を極めました。どちらの機種もX2 Soloにも、それぞれのニーズに適合する特殊センサーが組み込まれています。

X2 SOLOファミリーに搭載されている機能：

大型タッチスクリーンの表示は、シンプルな操作ですべての測定パラメータを一目で把握できます。

全波形を直接ベースユニット上で直接、測定結果波形の簡易解析が可能です。

特別な設定をしなくてもタイプの異なるX線装置に対応します。接続したら、すぐに測定可能です。

スタック式センサーによって位置決めが簡単、しかもX線フットプリントを最小限に抑制します。

ワイドダイナミックレンジ – 高感度測定用の特別なモードはありません。

内蔵メモリ – 最大10,000件の測定結果とすべての波形データをベースユニットに保存できます。



分かりやすいディスプレイ

RaySafe X2 Soloのタッチスクリーンインターフェイスは、データを総合的に、しかも自由自在に表示できます。ホームスクリーンには、接続されているセンサーから送られてくるパラメータ各種がすべて表示されます。特定のパラメータを大きく表示させたいときは、その上をタップするだけです。クイックスワイプを使用すると波形が表示され、ピンチすると詳細が拡大表示されます。どの表示画面にも共通の Menu (メニュー)、Home (ホーム)、Back (戻る) キーで、ナビゲーションもシンプルです。

行った照射はすべてベースユニットに保存されます。セッションの途中でスワイプすると、前の照射に即座に戻って参照や比較などが行えます。終了した測定セッションを無償提供されるX2 Viewソフトウェアにアップロードしておく、後日にデータ処理などが行えます。



ホームスクリーン
1～12種のパラメータを同時測定、
波形も表示。



シングルビュー
選択したパラメータの拡大表示。



波形
kVp、線量率、またはmAの概要
および簡易解析。



解析モード
波形を拡大表示して、パルスのピーク
線量率などを特定。

RaySafe X2 Solo R/F

RaySafe X2 Solo R/Fは一般撮影装置や透視装置の測定におけるあらゆるニーズをカバーします。

- 一般撮影、インターベンション放射線、外科手術、CR、DR、歯科（口内、パノラマ、CBCT）、CT（kVp、HVL および時間のみ）
- オプションとして、HVLおよび総ろ過、ならびに侵襲式mAs測定を追加可能
- 線量、線量率、kVp、照射時間、パルス、パルスレート、および線量/パルスを測定
- レンジ切り替えなしで、透視装置に必要な低線量率、ならびにCTに必要な最大150 kvのkVレンジの両方をカバー

セットアップの所要時間は非常に短く、最初の照射をするまでに1分もかかりません。直感的なユーザーインターフェイスと内蔵インテリジェンスにより、データをどのように得るかではなく、測定データを読み取ることに集中できます。使い勝手の良さと時間が節約できるだけではなく、何よりも重要な点は、チェック済みだったはずのラボを再び訪れることにもなりかねない、高くつく測定ミスリスクが最小限に抑えられることです。

オプション

HVLおよび総ろ過

このオプションを使用すると、RaySafe X2 Solo R/Fは1回の照射で半価層（HVL）と総ろ過の両方を測定するため、複数のフィルターを使って何度も線量測定を行う必要がなくなります。RaySafe X2 Soloは、ろ過率の異なるダイオードを持つスタック式センサーを使用しているため、HVLを正確に計算します。HVLおよび総ろ過オプションがインストールされていると、これらのパラメータがその他のパラメータと同時に測定されて、照射後毎回、測定値がメイン画面に表示されます。

mAs

RaySafe X2 Solo R/FはmAs 測定機能の有無を選択できます。パルス測定の場合でも管電流の侵襲測定が行える設計になっています。

RaySafe X2 Solo DENT

RaySafe X2 Solo DENTは、歯科用アプリケーションにおけるすべてのX線パラメータを測定します。

- コーンビームCT、パノラマ、口内法など、あらゆるタイプの歯科装置に対応
- オプションとして、HVLおよび総ろ過、ならびに侵襲式mAs測を追加可能
- 歯科用X線装置で使用される管電圧・線量率範囲で、線量、線量率、kVp、照射時間、パルス、線量/パルスを測定



X2パノラマホルダー

パノラマ装置測定

RaySafe X2 Solo DENTには、新製品のX2パノラマホルダーが含まれています(その他のX2モデルでは、別売りアクセサリとして利用可能です)。パノラマ装置の幅が狭いX線照射野内にセンサーを正確に配置する作業が、かつてないほど簡単になりました。

1. ホルダーをX線装置に取り付けます。
2. X線の位置を明らかにするために、ガフクロミックフィルム(同梱されています)を使用して照射します。
3. 調整レバーを使用して、センサーの位置をX線に合わせてください。

必要であればホルダーのマーキングを利用して、以前の位置に戻ることができます。

別売りアクセサリ



RAYSAFE P FLUORO
ファントム



X2 FLEXIスタンド



X2 BLUETOOTH
アダプター



X2吸着カップホル
ダー

Unfors RaySafeは、医療現場でのX線装置の性能測定、スタッフ被ばくのリアルタイムモニタリング、患者のためのX線被ばく管理に包括的なソリューションを提供いたします。

RaySafeは、不要な放射線被ばくの回避を支援します。